

中国の戸籍制度と職業的地位達成

——農村戸籍と都市戸籍に着目して——

首都大学東京 佟彩霞

1 目的

この報告の目的は、中国の農民工（農村出稼ぎ労働者）とその2世の職業移動状況および戸籍制度が個人の職業的地位達成にどのような影響を及ぼしているのかを、統計的手法を用いて明らかにすることである。

中国の戸籍制度は都市戸籍と農村戸籍に分かれている。また、中国では1990年代以降、大量の農村戸籍を持った人々が都市へ流入し、彼らは農民工と呼ばれている。彼らの子どもも農村戸籍を持ちながら都市に居住していることが多いため、近年、農村戸籍を持つが都市に育った農民工の子どもが増えている。中国における戸籍制度の個人の階層移動や職業的地位達成との関連についてはWu and Treiman (2007)の研究があり、農村戸籍を持っていることは職業的地位達成に不利であることが明らかになっている。しかし、都市に育った農村戸籍を持つ者も農村出身者と同じく、都市戸籍を持つ者と比べて、職業的地位達成において不利であるのだろうか。

この点を明らかにするため、報告者は特に農村戸籍を持っている農民工およびその2世に焦点を当て、彼らの職業的地位達成について明らかにする。

2 方法

そこで、データとして中国総合社会調査(CGSS)2006のデータを使用する。研究対象者は都市在住の都市戸籍を持つ者と農村戸籍を持つ者(農民工とその子ども)である。都市に居住している都市戸籍を持つ者と農村戸籍を持つ者の世代間の職業移動にどのような特徴があるのか、その移動および地位達成において戸籍制度の及ぼしている影響を明らかにする。

3 結果

分析結果から、戸籍制度の個人の地位達成に与えている影響が明らかになった。教育達成については、都市に生まれ・育ったことにもかかわらず、農村戸籍を持っていると、都市戸籍を持っている人より不利であることが明らかになった。そして、学歴と密接の関連がある職業においても、戸籍制度の及ぼしている影響が明らかになった。

4 結論

以上から、戸籍制度が出身階層や地域の影響と独立して個人の教育的・職業的地位達成に強い影響を与えていることが分かった。報告者は見落とされがちな農民工とその子どもを対象にして職業移動に戸籍の与えている影響について分析を行い、彼らが都市での職業的地位達成においてどのような不利を受けているか、明らかにした。

文献 Wu, Xiaogang and Donald J. Treiman. 2007. "Inequality and Equality under Chinese Socialism: The Hukou System and Intergenerational Occupational Mobility." *American Journal of Sociology* 113(2):415-45.